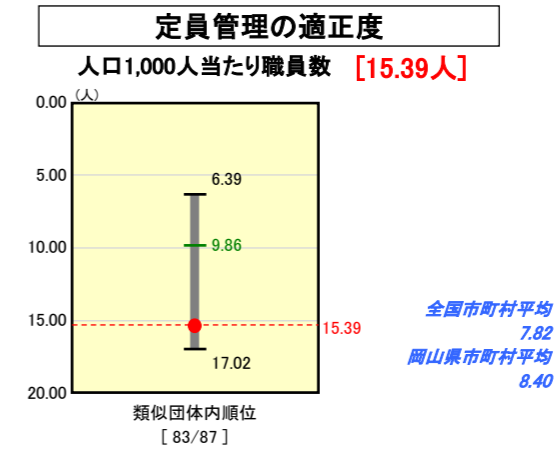
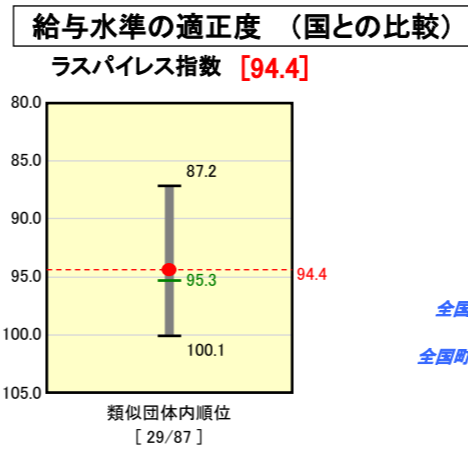
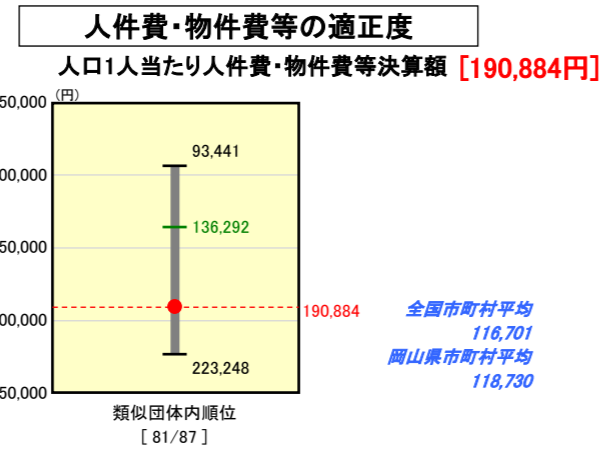
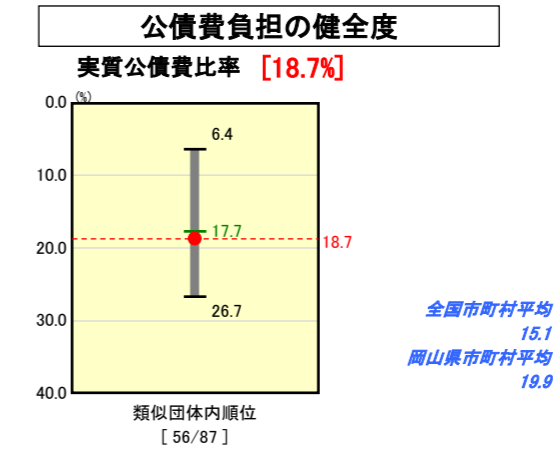
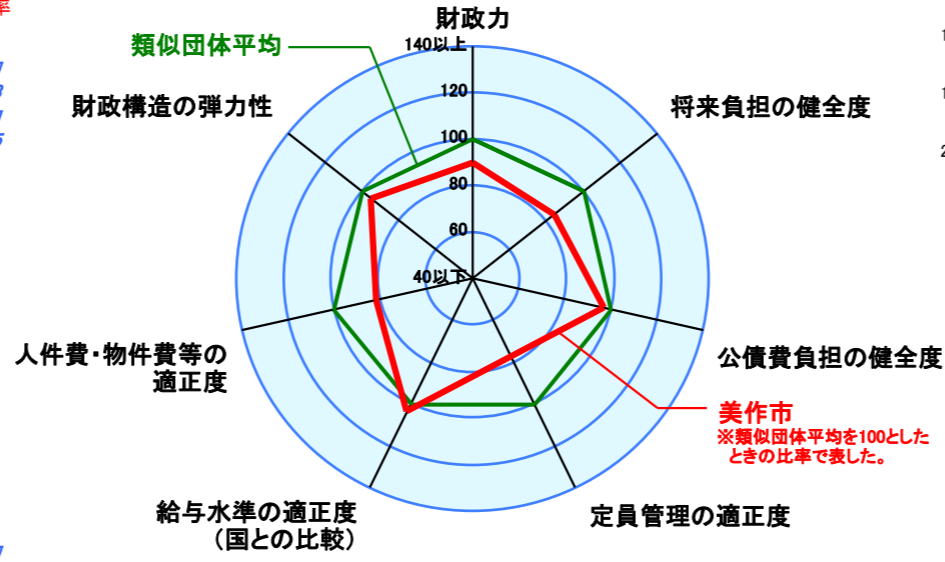
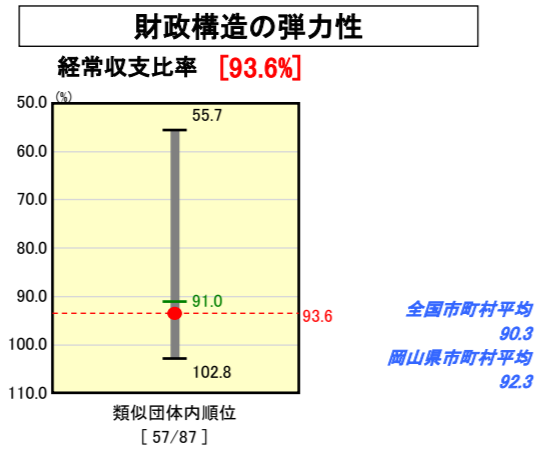
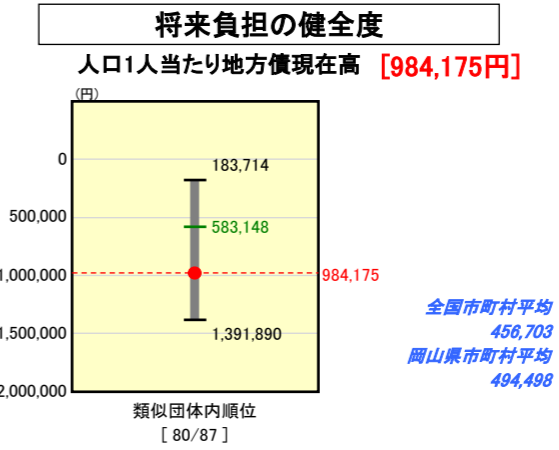
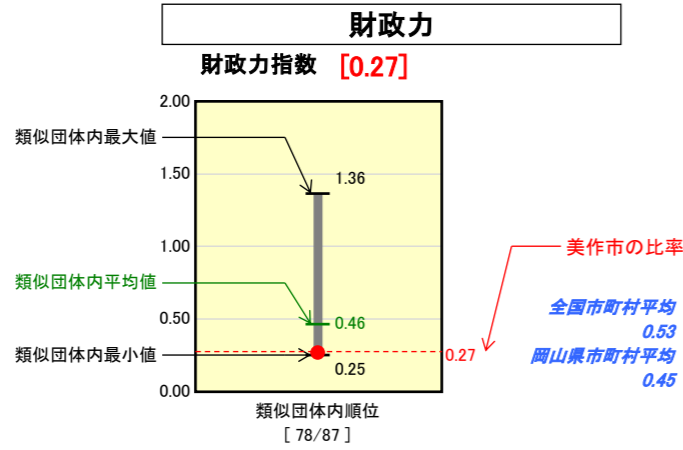


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

岡山県 美作市

人口	33,211 人(H19.3.31現在)
面積	429.19 km ²
歳入総額	23,261,867 千円
歳出総額	22,100,002 千円



分析欄

財政力指数：前年よりわずかに数値は上昇(0.01ポイント)しているが、基本的に財政基盤が弱く、類似団体平均を大きく下回っている。産業振興、企業誘致、地方税の徴収強化等によって歳入確保を図り、財政基盤の強化に努める。

経常収支比率：93.6%という数値は財政の硬直化を示しており、類似団体平均よりも高い数値である。現在は、集中改革プランに沿った行政改革を進めており、前年比0.4%の改善がみられた。平成21年度までに経常収支比率を90%以下に低下させることを目標とする。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：類似団体平均を大きく上回っている。主に人件費を要因としており、職員の定員適正化計画によって人件費とそれに伴う物件費のコスト低減を図っていく。

ラスパイレス指数：類似団体平均をやや下回っているが、今後も各種手当の見直しを行い、より一層給与の

実質公債費比率：地方債現在高については、今後も高い水準で推移するものと思われるが、地方債繰上償還の実施と新規発行債の抑制によって実質公債費比率の適正管理を図る。前年よりも数値が悪化しているが、これは主に算定基準が変更されたことによるものである。

人口1人当たり地方債現在高：インフラ整備事業などに起因する多額の起債残高に加え、人口減少の影響で1人当たりの現在高が高くなっている。現在は、地方債の繰上償還の実施と新規発行債の抑制によって、地方債現在高の低減を図っているところである。前年に比して類似団体平均との格差がやや改善されたが、これは地方債繰上償還と新規発行債抑制の効果によるものと、類似団体平均の地方債現在高が増加したことによるものである。

人口1,000人当たり職員数：集中改革プランに基づき、10年間150人を削減目標とする定員適正化計画を策定し、着実に実施している。職員数については計画よりも早いペースで削減がすすんでいるものの、同時に人口